

～三次（みよし）とつながるアーティストが贈る～

ふるさと歌謡ショー



川崎員奥

1948年広島県生まれ。華道・人形作家・シャンソン歌手として幅広いジャンルで活躍。辻村寿三郎の後継者。辻村寿三郎記念館で定期的にトークショー開催。人形師は身体が命。手の届く距離で人形の表情が観れる、人形師の技が観れる。人形師川崎員奥の舞台は必見の価値あり。寿三郎人形教室「木綿兎」の講師として活躍。

高山秋子

1997年NHK日本縦断カラオケ道場で全国大会出場。2004年8月キングレコードより「十三（とさ）の恋歌」でデビュー。地元三次で歌い続ける三次を代表する歌手。信用金庫にお勤めの頃からのFanは多い。まさに三次の歌姫。

大山百合香

鹿児島県奄美群島の沖永良部出身。2005年Sony Musicよりデビュー。2015年広島県を拠点に活躍。2017年三次市をテーマにした「カワラナイモノ」をリリース。飾らないハートフルなステージ・まっすぐ伸びる心地よいクリアボイス。三線の音色は多くのFanを魅了する。

美良政次

三次市出身のビジュアル系演歌歌手。2005年結成されたバンドMoidixMoisにVocalとして参加。2018年6月コロムビアより「未練橋」でソロデビュー。デビュー作は自ら作詞。海外でも活躍中の歌手がふるさと三次市民ホールきりりの舞台に立つ。

三次（みよし）の
「ふるさと大志」集合

成世昌平

1956年6月広島県生まれ。大阪市立都島工業高等学校卒業後、島津製作所在職中民謡の勉強を始め1985年7月日本クラウンレコードから「博多節／福知山音頭」でデビュー。2002年に出した「はぐれコキリコ」がロングセラー50万枚の大ヒット。三次を背景とした「江の川」を昨年リリース。「鶴の舞橋」のヒットによって青森県鶴田町では毎年「全国カラオケ大会」を開催。多くの観光客が訪れている。歌謡曲・民謡その垣根を超えた歌手としてNHK等の放送番組で活躍。その活動のエリアは未だとどまる事を知らない。

メッセージ ～歌は時代と共に変化を繰り返して来ました。しかしどのように変わろうともどれほど時代が変わろうともその役割が終わる事はありません。歌が無くなる時は文明の終わる時です。心を込めた歌は自分をも安らげ、皆さんの未来に何かをもたらせてくれると信じています。～